

「花と緑で地域を元気に」

第1回 なぜ、今花と緑なのか

神戸国際大学 都市環境・観光学科教授
ランドスケープアーキテクト 白砂 伸夫

「環境の時代」と呼ばれて久しい。しかし「環境」に取り組むことはなかなか容易ではない。思いつくのはゴミの分別や節電で、これを実践している人も少なくはないはずである。それ以外に思いつくことは？

環境はとても大切だけれどもそれに取り組むことは難しい、またその成果が簡単に見えてこないことも解決を難しくしている。地球温暖化はわれわれの世代で解決する必要のある地球規模の問題であり、時間的猶予は残されていないにもかかわらず、世界はそれに対処できないでいる。地球規模の問題となればなるほど私たち個人に何ができるのかと、不安を覚えつつもすでにその問題解決を放棄していないだろうか。



花の美は私たちに潤いと安らぎを与えてくれます

科学技術は、環境問題の解決に大きく役に立つかもしれないが、科学技術による解決は新たな問題を生み出す可能性がある。なぜなら人間が生み出した科学技術は世界を知る単に一つの見方にしか過ぎず、何億年という時間に育まれた地球そのものの営みと精神世界の本質を明らかにすることはできないからである。科学技術への盲信は原発事故のような思いもよらない事故を引き起こしてきた。

環境問題の解決には、それらを引き起こしてきた

人々の心そのものを変えていく必要がある。心を通わせ自然と人間を結び付ける。そのことが環境問題を解決する唯一の方法である、と私は考えている。人の心を自然へと方向づけるもの、それが花であり緑ではないだろうか。自然の壮大な営みを簡単には理解することはできないが、緑に親しみ、花を愛で育てることなら誰にでもできる。

植物を栽培されたことのある皆さんなら、その不思議な生命の世界を、感動的な出会いを経験されているのではないだろうか。種が発芽する瞬間、植物が生長し美しい花を咲かせる時、その瞬間に出会うこと、自然と心を通わせること無しに私たちは自然を知ることにはできない。

近頃の子どもたちは、マンション居住やコンピュータゲームの普及などにより、自然に接する機会がめっきり減ってきている。同時に、簡単に人を殺める子どもたちの出現にわれわれはただおののくばかりである。そのことと子どもたちと自然との距離が遠くなってしまったことは無関係だろうか。カエルを殺したり、野の花を摘まないで自然を学ぶことはできない。緑を育て、花の美に感動することは、子どもたちが真に人間らしく成長するための糧でもある。



ガーデンの散策路は自然へのアプローチの第一歩

県民まちなみ緑化事業

事業概要

兵庫県では、都市における環境の改善や防災性の向上などを目的として、『県民緑税』を活用し、県民のみなさんによる植樹や芝生化などの緑化活動を支援する『県民まちなみ緑化事業』を実施しています。県民のみなさんには、樹木、多年草の植栽や芝張り、その後の維持管理を行っていただきます。

 樹木を植樹したい	一般緑化
 植え替えや補植がしたい	一般緑化
 芝生にしたい	校園庭・ひろばの芝生化
 駐車場を芝生にしたい	駐車場の芝生化
 屋上緑化や壁面緑化がしたい	建築物の屋上緑化・壁面緑化

▽ 対象者

- 自治会、婦人会、老人会などの住民団体
- まとまった面積の緑化を行う土地所有者（個人・法人など）

▽ 対象地域

- 住民団体が公共用地で実施する場合（一般緑化、ひろばの芝生化、駐車場の芝生化）都市計画法に規定する都市計画区域
緑豊かな地域環境の形成に関する条例（以下「緑条例」という。）の「さとの区域」、「まちの区域」など
- 個人、法人等が実施する場合
都市計画法に規定する市街化区域
用途地域が定められた区域
市街化調整区域のうち、特別指定区域及び開発指定区域
緑条例の「まちの区域」など
- ただし、校園庭の芝生化は、県下全域が対象です。

屋上緑化の一例



尼崎市 高齢者住宅
屋上庭園の緑化
介護施設屋上緑化により
入居者の憩いの場所として
利用され効果があがっ
ている。

駐車場の芝生化一例



神戸市 幼稚園駐車場
グラスパーキングにする
ことで景観によい。プロ
ックでぬかるみ回避し、
芝生により照り返しも少
なくなる。

校園庭の芝生化一例



たつの市 中学校校庭
芝生面積が約3700㎡と大
模ながら、管理が行きと
どき、美しい学習環境と
景観の形成、校庭の輻射
熱対策に寄与している。

一般緑化の一例



南あわじ市 小学校法面
高台の法面に完成させた
つつじの花園は道路から
の見栄えも良く美しく圧
巻。土砂の流亡にも役立
っている。

問い合わせ先

一般緑化、校園庭・ひろばの芝生化

実施箇所	問い合わせ先	郵便番号	所在地	電話番号
神戸市	県土整備部まちづくり局 都市政策課緑化政策係	650-8567	神戸市中央区下山手通 5-10-1	078(362)3563
尼崎市、西宮市、芦屋市、 伊丹市、宝塚市、川西市、 三田市、猪名川町	宝塚土木事務所 まちづくり建築課	665-8567	宝塚市旭町2-4-15	0797(83)3191
明石市、加古川市、高砂市、 稲美町、播磨町	加古川土木事務所 まちづくり建築課	675-8566	加古川市加古川町寺家町 天神木97-1	079(421)9402
西脇市、三木市、小野市、 加西市、加東市、多可町	加東土木事務所 まちづくり建築課	673-1431	加東市社字西柿1075-2	0795(42)6176
姫路市、相生市、たつの市、 赤穂市、宍粟市、神河町、 市川町、福崎町、太子町、 上郡町、佐用町	姫路土木事務所 まちづくり建築課	670-0947	姫路市北条1-98	079(281)9313
豊岡市、養父市、朝来市、 香美町、新温泉町	豊岡土木事務所 まちづくり建築課	668-0025	豊岡市幸町7-11	0796(26)3757
篠山市、丹波市	丹波土木事務所 まちづくり建築課	669-3309	丹波市柏原町柏原688	0795(73)3863
洲本市、南あわじ市、 淡路市	洲本土木事務所 まちづくり建築課	656-0021	洲本市塩屋2-4-5	0799(26)3213

駐車場の芝生化、建築物の屋上緑化・壁面緑化

実施箇所	問い合わせ先	郵便番号	所在地	電話番号
全市町	県土整備部まちづくり局 都市政策課緑化政策係	650-8567	神戸市中央区下山手通 5-10-1	078(362)3563

募集期間

平成27年4月1日(水)～11月30日(月)

夏募集：平成27年6月1日(月)～8月31日(月)

冬募集：平成27年9月1日(火)～11月30日(月)

2015全国オープンガーデンフォーラム in Awaji 洲本市で開催！

オープンガーデンの魅力を全国の庭主さんと共感し、次世代に繋ぐことを目指して5月9日(土)、10日(日)に開催されました。淡路花博2015花みどりフェアに協賛して、2010年に続き2回目の開催となり、県内をはじめ、宮城、埼玉、香川、沖縄などから約260名が参加しました。洲本市文化体育館で行われた基調講演&パネルディスカッション、あわじ花巡りツアー、県下のオープンガーデン見学会の様子を紹介します。



講師：白砂 伸夫 氏

基調講演

テーマ：楽しみの共感から新たなつながりへ

講師：白砂 伸夫 氏 (神戸国際大学教授・造園家)

< 内容抜粋 >

日本のオープンガーデン、その大きな力

元々日本にある花文化が今オープンガーデンに受け継がれています。庭づくりという純粋に自然を愛で、それを理解しようとする活動を外に開放することで、地域のコミュニティが作り出されます。個々からまちへ、国、やがて世界に自然と共生する大切さを拡げることが、環境問題解決の糸口となる可能性を秘めていると考えます。

私のガーデンデザインの基本は自然に耳を傾ける

平安時代の作庭記にある「石のこはんにしたがひて」は、石自身が語りかけることばに従って、石が求める姿に立てよということです。自然に耳を傾けることが大切です。

農家の庭に学ぶ

オープンガーデンの原型は農家にありと思っています。近畿地方の4地区の農家の庭を調査したところ、維持管理に手間をかけずに楽しんでいることがわかりました。宿根草(継続して栽培できる)や在来種(土地に合っている)、種子から育つ品種(コストがかからない)などで構成されており、近所同士で教え合い交換しあって、花壇を維持しています。それが農村全体に広がり、オープンガーデンのような雰囲気を作っています。学ぶべき点が多いと思います。

六甲アイランドローズガーデン

震災で傷んだ街のオープンスペースの一部を埋め立て住民が維持管理するローズガーデンが設置されました。私がアドバイザーとなって、住民、行政、神戸国際大学の協働で、素人でいかに手かけずに無農薬でローズガーデンを維持できるかを考え、農家に学んだ作り方を実践し、まちづくりに役立てています。

パネルディスカッション

コーディネーター

須磨 佳津江 氏 (キャスター・ジャーナリスト)

パネリスト

鎌田 秀夫 氏 (オープンガーデンみやぎ顧問)

吉田 二郎 氏 (深谷オープンガーデン花仲間・深谷市役所)

杉峯 美代子 氏 (善通寺ガーデンクラブ会長)

屋我 英樹 氏 (南城市憩いのオープンガーデン・南条市観光協会)

松本 ひとみ 氏 (丹波の森花くらぶ代表・兵庫オープンガーデンネットワーク代表)

助言者

白砂 伸夫 氏 (講師)

加地 一雅 氏 ((株)エクステリア風雅舎代表取締役)



バラやアジサイで飾られたオープンガーデンのようなステージで行われたディスカッション



コーディネーター
須磨 佳津江氏

全国から集まったパネリストの皆さんから、活動の様子や今後の課題などが報告され、課題の対策や今後の展望、社会に向けての貢献について白熱した盛り多いディスカッションが展開されました。

近隣住民の理解と協力、駐車場、来訪者のモラル、広報力、資金力、若い人への継承など具体的な悩みが各団体から出されました。庭主と見学者がガーデンを楽しむという共感を重ねること、さらに全国フォーラムの開催等を通して、新たなきずなや価値観の共有を積み重ねていくことが問題解決の原動力になると共感しあえました。

また、オープンガーデンは、花と緑のまちづくりや観光、地域経済を活性化させ、地域づくりや国づくりへとつながる活動です。このプライベートなガーデンにあえて行政や各種団体を巻き込み、連携しながら、主体はあくまで住民が運動を進めていくことの大切さが確認されました。



盛り上がったディスカッション



助言者 白砂 伸夫氏
加地 一雅氏



あわじ花巡りツアー& オープンガーデン見学会

のべ120名の参加者が集い、オープンガーデン先進地である兵庫県のオープンガーデンを満喫し、「楽しいから続けられる」そんな思いが全国の庭主さんと共感できました。



DIYの庭 (南あわじ市)



尾久土邸 (神戸市北区)



熊澤邸 (宝塚市)



六甲アイランドローズガーデン (神戸市東灘区)

グリーンメッセージ

国際シンポジウム「パークマネージメントの未来」 ～魅力ある公園とその経営～

兵庫県参与(花と緑のまちづくり推進担当)

(公財)兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター長
石原 憲一郎

平成27年5月14日、「淡路花博2015花みどりフェア」の一環として開催された国際シンポジウム「パークマネージメントの未来」では、～魅力ある公園とその経営～をテーマにこれからの公園像について国際的視点で議論した。国内外から約450名が出席し、会場が超満員になる大盛況だった。

パークマネージメントとは、公園という社会資本を管理、経営し、地域や国の課題解決の一助となるよう最適化するアプローチである。我が国の公園（都市公園）は、全国に約11万箇所、約12万ヘクタール以上開設され多くの国民に利用されているが、近年、経済社会環境の潮流変化のなか、**健康づくりの空間**や**災害時の安全・安心の拠点となる防災空間**、さらに**コミュニティの再生や地域活性化の活動空間**としてそこに求められる機能が高度化および多様化している。特に、超高齢化社会の進行は深刻であり、社会保障費の増大を防ぐ意味からも健康維持のためのプログラムや施設整備が特に急務となっている。

基調講演では、オーストラリアの造園家ニール・マッカーシ氏が「ヘルシーパークス・ヘルシーピープル」と題し、公園や緑の多い空間があらゆる健康に有用で、これを公園管理の新しい考え方に発展させていくことを強く提唱された。さらに、「ヘルシーライフに貢献する公園」「市民協働やコミュニティ再生をリードする公園」「次世代を育む公園」の分科会に分かれてさらに議論を深め、最後に「パークマネージメント淡路宣言2015」を会場総意のもとに発表した。

皆さんも、身近にある公園を、「地域住民の健康長寿の源」として位置づけ、設置管理者である行政と協働して、様々な取り組みにチャレンジし、輝やかせてみませんか？



<パークマネージメント淡路宣言2015>

- 1、本日私たちは、「公園は全ての人々にとって心身のヘルシーライフが担保されたこれからの健康長寿社会の実現に最も効果的で不可欠な社会資本であること」を再確認しました。
- 2、このような公園の効果・機能を最大限に発揮させていくためには、公園の価値と役割を多面的かつ重層的に理解し、公園をつくるだけでなく、継続的に最高のパークサービスが提供されるパークマネージメントの展開が不可欠なことも再確認しました。
- 3、このため、私たち公園に関わる者は、行政実務者はもとより市民、企業、ユーザーを含め、幅広い連携のもと、新たなパークマネージメント手法を今日の議論をきっかけに兵庫方式として構築し、展開させていくことに努めていきます。
- 4、さらに、この取り組みを継続的に発展していくため、専門的な理論と技術の融合・発展に向けて世界的規模での交流を進めるとともに、市民協働のもとに継続的なレビューに取り組み、公園の能力と価値の増大に努めていきます。
- 5、こうして、公園を地域創成の核・健康長寿社会の中核的イノベーターとして発展させていきます。

ほっと

●●● 相談員ニュース ●●●

ギボウシを楽しむ

緑の相談所長(NHK趣味の園芸講師)

若松 康史

日本のギボウシ

梅雨空の下、瑞々しい葉を広げ、すらりと伸びた茎に薄紫色の花を咲かせるギボウシは清涼感をもたらしてくれます。また、観賞用だけでなく、若葉は山菜としても利用されてきました。

ギボウシは日本を中心とした東アジアに分布していますが、雑種を作りやすいため分類が諸説あり、20~40種と幅があります。日本では野生種そのものの美しさを好んで植栽されることが多く、品種改良が盛んに行われるようなことはありませんでした。

海外のギボウシ (=ホスタ)

欧米に渡ったギボウシは、その美しさと栽培のし易さで人気が高まり、学名のホスタという名前で定着しました。また、雑種を作りやすいという特徴から、色や形の変化を求め品種改良が盛んに行われてきました。アメリカでは愛好団体が存在するほどの人気で、3,000以上の品種が登録されています。ただ、品種数が非常に多くなったため、新品種の登録や品種選定が容易に行えるよう、葉の大きさと葉の色のタイプを組み合わせで分類されています。このように、ギボウシが海外でバリエーション豊かに姿を変え、手間のかからないカラーリーフプランツとして、多くの品種が我が国に逆輸入されるようになりました。



葉の大きさ、色、形のバリエーションが豊か

楽しみ方

一昔前は日陰や道端に植えてあることが多かったのですが、個性あふれる品種が増えてきたので、洋風や和風に関係なく、庭に植えても、コンテナに植えても良く映えます。様々な品種



清涼感のある花も魅力的

を組み合わせるとギボウシだけで素晴らしいカラーリーフガーデンになりますが、年数が経って株立ちになった大型品種では、1品種でも大変存在感があります。

日頃の管理

夏の直射日光が長時間当たる場所では葉焼けしやすくなります。特に白斑の大きい品種は、葉焼けを起こしやすいので直射日光がさえぎられる場所で管理します。イエロー系の品種は午前中に1~2時間程度の陽が差す場所の方がきれいに発色します。ブルー系の品種は粉を葉の表面にまとっているため、雨に当たらない場所のほうが、美しい色が長持ちします。

ギボウシは、病害虫も少なく栽培も容易です。肥料は春と秋に緩効性肥料を施す程度で十分ですが、やや湿り気を好むので鉢などのコンテナ植えでは乾かし過ぎないように注意します。斑入り品種では斑の入りが安定せず、斑が消えてしまう場合があるので、従来と違った葉を持った株は見つけ次第根元から抜き取るようにしてください。

平成27年度 園芸教室 (8月～10月)

★★お申込・お問合せ★★

花と緑のまちづくりセンター TEL 078-918-2405

*申し込み開始日、午前9時より受付 先着順で締切り

実施日	課題名・内容	講師名	開催時間	参加費	申込開始日	
8月 2日 (日)	明石公園の自然観察⑥ (雨天決行)	明石公園の自然に親しむ会	兼光たか子	10:00～	100円	7/15
28日 (金)	楽しい秋冬野菜づくり	ED百姓	大西 忠男	13:30～	100円	8/1
30日 (日)	明石公園の野草を見る・楽しむ・学ぶ<夏>	自然観察指導員	高野 哲司	13:30～	100円	
9月 4日 (金)	バラの手入れ② ～秋の手入れ～	県立フラワーセンター	山田 益男	13:30～	100円	8/15
6日 (日)	明石公園の自然観察⑥ (雨天決行)	明石公園の自然に親しむ会	兼光たか子	10:00～	100円	
11日 (金)	初秋を楽しむ寄せ植え	ひょうごガーデンマイスター	岡田ちづよ	13:30～	2,000円	9/1
25日 (金)	家庭果樹の作り方② ～イチジク・カキ・クリ～	園芸研究家	荒木 齊	13:30～	100円	
26日 (土)	ハーブのある暮らし② (ガーデンショー体験教室) フラワーアレンジ「ハロウィン」	ジャパンハーブソサエティ 上級ハーブインストラクター	松尾あや子	13:30～	1,500円	
27日 (日)	(ガーデンショー体験教室) 額縁型プランターにチャレンジ	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会	日本ハンギングバスケット協会	10:00～ 13:30～	700円 3,100円	
10月 2日 (金)	植物を暮らし～お庭で緑を楽しむ3つのポイント～	樹木医エクステリアプランナー	三木 健史	13:30～	100円	9/15
3日 (土)	(ガーデンショー体験教室) フラワーアレンジ「ハロウィン」	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会		10:00～	700円	9/7
	(ガーデンショー体験教室) どんぐりで森の仲間をつくらう	花と緑のまちづくりセンター	山本 建也	13:30～	600円	
4日 (日)	明石公園の自然観察⑦ (雨天決行)	明石公園の自然に親しむ会	兼光たか子	10:00～	100円	9/15
18日 (日)	★明石公園の野草を見る・楽しむ・学ぶ<秋>	自然観察指導員	高野 哲司	13:30～	100円	10/1
25日 (日)	葉になる木・草を学ぶ <秋> (葉草のおみやげ付き)	明石薬剤師会	高橋 宏和	13:30～	500円	

場所：明石公園内 花と緑のまちづくりセンター ★印はサービスセンター西館（明石公園）

ガーデンショー体験教室はガーデンショー会場テント（西芝生広場）

ひょうごローズクラブ

平成27年度総会・ローズセミナー淡路で開催

5月23日(土) 県立淡路夢舞台国際会議場で、170名の参加者を集め、2つの講演会が開催されました。



会場ロビーを飾る県内産切りバラを
観賞する参加者



ローズスタイリスト
大野 耕生さん



講演「アロマセラピーとローズ活用法」

ローズガーデンデザインや植栽等を手掛け、NHK趣味の園芸などへの出演や執筆・講演活動で活躍中の大野さんならではの栽培のコツや、ローズライフの楽しみ方のお話を聞きました。お人柄を感じさせる自然体の温もりのあるトークに、会場内は和やかな雰囲気になりました。



AEAJ(日本アロマ環境協会)
認定アロマセラピー
プロフェッショナル
佐々木 薫さん



講演「アロマセラピーとローズ活用法」

佐々木 薫さんには、アロマセラピーという自然療法の効能についてのわかりやすい説明の後、ローズオイル世界的生産地「ブルガリアの谷」の美しい生産風景を見せていただきました。またローズオイルの香りを体験させていただき、会場内は芳しい香りに包まれました。

花と緑のまちづくりセンターだより 33号

- 平成27年7月31日(年4回発行)
- 編集発行 公益財団法人兵庫県園芸・公園協会理事兼花と緑のまちづくりセンター長 石原 憲一郎
〒673-0847 明石市明石公園1-27 花と緑のまちづくりセンター
TEL:078(918)2405 FAX:078(919)5186 Eメール:info_midori@hyogopark.com